

●対象活動:冬期湛水

組織名	環境営農組合
氏 名	雲南太郎

- ・配布した実施区画を参考に原則圃場ごとに生産記録をまとめてください
- ・ただし、同じ取組、同じ栽培方式、同じ作物ならば、別々の圃場でも一枚の生産記録にまとめて良いです

ほ場名（番号）	実施面積	作物名（５割低減）
圃場番号１～１０	15a	つや姫

※実施面積は法面や畦畔を除いた値とすること

1. 対象活動

(1)主な作業

作業名	措置方法 (措置番号を記載)	実施時期	備 考
取水措置	②	令和7年11月15日	
漏水防止措置	③	定期的なほ場巡回による畦畔等の補修	
定期的な水位管理	定期的な圃場の巡回による点検	5日ごと	

取水措置	漏水防止措置
① 地下水をくみあげ	① 畦塗り
② 排水路の水をくみ上げ	② 畦畔シートの設置
③ 水利権のある農業用水からの取水	③ 定期的なほ場巡回による畦畔等の補修
④ その他(具体的に記載すること)	④ プラスチック製の畦畔カバー
	⑤ コンクリートブロック
	⑥ その他(具体的に記載すること)

(2)湛水期間

	実施時期	備 考
湛水開始時期	令和7年11月15日	
排水開始時期	令和8年3月1日	
湛水期間	約3カ月半	

(留意事項)メタン発生量を増加させない及び地耐力の低下を防ぐため春に一時落水して圃場を乾かす(地域の保全対象生物に応じ実施。例えばアカガエル類の産卵が確認された冬期湛水圃場では春落水を行わないなど。)。また、生き物調査などモニタリングを合わせて行うことが望ましい。

2. 使用肥料(5割低減の取組)

資材等の名称	化学肥料窒素成分の割合(%)	使用量(kg/10a)	【5割低減】化学肥料窒素成分(kgN/10a)	【慣行レベル】化学肥料窒素成分(kgN/10a)	使用時期	備考
〇〇500	15	20	3	15kg/10a×20%=3.0kgN/10a	令和7年〇月〇日	
合計						

(注1)化学肥料のほか、指定混合肥料、混合堆肥複合肥料、混合汚泥複合肥料などの化学肥料窒素成分を含む肥料を施用する場合は全て記載すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

3. 使用農薬(5割低減の取組)

農薬名 (商品名、剤型)	用途		【5割低減】 節減対象農薬成分回数	【慣行レベル】 節減対象農薬成分回数	使用時期	備考
〇〇粒剤	殺菌剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇粒剤	殺虫殺菌剤		3		令和7年〇月〇日	
〇〇フロアブル	植物成長調整剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇乳剤	除草剤		1		令和7年〇月〇日	
〇〇顆粒水和剤	殺虫剤		-		令和7年〇月〇日	日本農林規格(JAS)適応
合計			6	10		

(注1)有機農産物の日本農林規格で使用可能な表B.1の農薬も含め、使用した農薬は全て記入すること。

(注2)適宜、行を追加して記入すること。

成分回数の計算の仕方
農薬が含む有効成分の数×散布回数
例)
殺虫剤（２成分）×散布１回＝２
殺菌剤（１成分）×散布１回＝１
殺菌剤（２成分）×散布１回＝２
殺虫剤（２成分）×散布１回＝２

4. 保管書類

□写真 □使用した農薬、化学肥料の購入伝票

□がある項目については、該当する項目の□に■又は✓を記入すること。